

福祉のマークをご存じですか？

障がいのある方に対応した施設、設備やルールなどの存在を示したり、障がいのある方が支援を必要としていることを分かりやすく伝えるため、障がい者に関するさまざまなマークがあります。これらは国際的に定められたものや、障がい者団体などが独自に策定して普及を進めているものもあります。

一人ひとりが障がいのことを知り、障がいの有無にかかわらず、互いを尊重し合いながら共生する社会となるよう、これらのマークへのご理解とご協力をお願いします。

障がい者に関するマークには、主に次のようなものがあります。(順不同)

 <p>障がい者のための国際シンボルマーク</p> <p>障がい者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。 駐車場などでこのマークを見かけた場合には、障がい者の利用への配慮について、ご理解、ご協力をお願いします。</p>	 <p>盲人のための国際シンボルマーク</p> <p>世界盲人連合で1984年に制定された盲人のための世界共通のマークです。視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられています。 このマークを見かけた場合には、視覚障がい者の利用への配慮について、ご理解、ご協力をお願いします。</p>	 <p>聴覚障がい者標識</p> <p>聴覚障がいであることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークで、マークの表示については、義務となっています。 危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定により罰せられます。</p>
 <p>ハート・プラスマーク</p> <p>「身体内部に障がいがある人」を表しています。身体内部(心臓、呼吸機能、腎臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能)に障がいがある方は外見からは分かりにくいいため、さまざまな誤解を受けることがあります。 内部障がいの方の中には、電車などの優先席に座りたい、障がい者用駐車スペースに停めたい、といったことを希望していることがあります。 このマークを着用されている方を見かけた場合には、内部障がいへの配慮についてご理解、ご協力をお願いします。</p>	 <p>ほじょ犬マーク</p> <p>身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。 身体障がい者補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬のことを言います。「身体障害者補助犬法」で、公共の施設や交通機関はもちろん、デパートやスーパー、ホテル、レストランなどの民間施設は、身体障がいのある方が身体障がい者補助犬を同伴するのを受け入れる義務があります。補助犬を同伴することのみをもってサービスの提供を拒むことは障がい者差別に当たります。 補助犬はペットではありません。社会のマナーもきちんと訓練されており、衛生面でもきちんと管理されています。</p>	 <p>耳マーク</p> <p>聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない方・聞こえにくい方への配慮を表すマークです。また、窓口などに掲示されている場合は、聴覚障がい者へ配慮した対応ができることを表しています。 聴覚障がい者は見た目には分からないために、誤解されたり、不利益を被ったり、社会生活上で不安が少なくありません。 このマークを提示された場合は、相手は「聞こえない・聞こえにくい」ことを理解し、コミュニケーションの方法などへの配慮(口元を見せゆくり、はっきり話す・筆談で対応する・呼ぶときはそばへ来て合図する・手話や身ぶりですすなど)についてご協力をお願いします。</p>
 <p>「白杖SOSシグナル」普及啓発シンボルマーク</p> <p>白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚に障がいのある方を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発シンボルマークです。 白杖によるSOSのシグナルを見かけたら、進んで声をかけ、困っていることなどを聞き、サポートをお願いします。</p>	 <p>オストメイト</p> <p>オストメイトとは、がんなどで人工肛門・人工膀胱を造設している排泄機能に障がいのある障がい者のことをいいます。 このマーク(JIS Z8210)は、オストメイトのための設備(オストメイト対応のトイレ)があることおよびオストメイトであることを表しています。 このマークを見かけた場合には、身体内部に障がいのある障がい者であることおよびその配慮されたトイレであることをご理解の上、ご協力をお願いします。</p>	 <p>ヘルプマーク</p> <p>義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです(JIS規格)。 ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は、電車・バス内で席を譲る、困っているようであれば声を掛けるなど、思いやりのある行動をお願いします。</p>
 <p>身体障がい者標識</p> <p>肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークで、マークの表示については、努力義務となっています。危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定により罰せられます。</p>	 <p>手話マーク</p> <p>聞こえない・聞こえにくい人が手話言語でのコミュニケーションの配慮を求めるときに提示したり、役所、公共および民間施設・交通機関の窓口、店舗など、手話言語による対応ができることが掲示できます。また、イベント時のネームプレートや災害時に支援者が身に着けるピブスなどに掲示することもできます。</p>	 <p>筆談マーク</p> <p>聞こえない・聞こえにくい方、音声言語障がい者、知的障がい者や外国人などが筆談でのコミュニケーションの配慮を求めるときに提示したり、役所、公共および民間施設・交通機関の窓口、店舗など、筆談による対応ができることが掲示できます。また、イベント時のネームプレートや災害時に支援者が身に着けるピブスなどに掲示することもできます。</p>



平和を守るためにできること

弥富中学校 後藤 蒼依

【平和記念資料館での学び】

私は、平和記念資料館で戦時中の悲惨な状況について考えることができた。資料館には、被爆によって焼け焦げてしまった実際の物、けがや病気の被害にあった人の写真、当時の人たちが残した遺書などどれも戦争中の厳しい現実を突き付けられるようなものがあつた。ただ日本の勝利を願って苦しみに耐えるような姿は、見ていただけでも胸が苦しくなつた。だからこそ、もう二度とこのような目に合わないようするためにも、思い出したくないような戦争の恐ろしさや苦しさを語り継いでくれた人、そして未来の日本のために最後まで命がけで戦つた人々への感謝を私たちは一生忘れてはいけな



【平和公園がもつ意味】

平和公園には、戦争による火の被害を受け、水を得ることができなかった多くの人のために、たくさんの水の施設が作られている。このように戦争によって犠牲になってしまった人々への心遣いが表れるような施設がたくさんあり、とても感動した。

【折り鶴の献納】

原爆の子の像の周りにたくさん飾られた折り鶴は、鶴を並べて文字や絵を作つたものなど、多くの人の工夫や思いが感じられる素晴らしいものだった。そして、このような場所を作つてくれた人々たちの勇気ある行動に感謝するべきだと思つた。

【平和のためにできること】

戦争を経験した人が少なくなつていゝ中で戦争があつたことを忘れないためにも、どのように語り継いでいくかが重要だと思つた。今の私たちにできることは、広島に行つたからこそ分かつたことを他校の友達などに伝えることだと思つた。そして、戦争中の様子がい

【広島研修を通して】

広島研修の二日間、今後の自分にとって刺激になるようなことがたくさんあつた。資料館で見たあの光景を、実際に毎日見ながら生活してゐた人がたくさんいたのだと思つと、本当に悲しくなつた。だからこそ、自分には関係ないと思つたのではなく、今、何不自由なく平和に生きられてゐることを有り難く思ふようになりた

広島研修に参加して

弥富中学校 山口 匠

【平和記念資料館を訪れて】

平和記念資料館の中に、原爆に侵された人々の写真が多くあつた。髪の毛が抜け落ちてしまつた人、原爆病に苦しんでゐる人、中には原爆の爆風で上半身が焼けただれていて、顔も分からないような状態の人の写真もあつた。原爆が直撃したこと



【被爆ピアノを聴いて】

放射能を浴びながらも、無事に原爆の爆発に耐えることができたピアノ。私はそのピアノの音色を聞く前、弱々しい音が出るのだらうと思つていた。しかし、そのピアノは、原爆の爆発を受けたとは思えないほど、力強い音を奏でた。

【平和公園を訪れて】

像それぞれに意味があつて、世界に平和が訪れてほしいという切なる思いを感じる

【これから私が平和のためにできること】

広島研修のような、数少ない戦争についての記録などを詳しく学べる機会を大切に、自分なりに戦争という悲しい歴史に対して考えをもつこと、仲間と共に戦争は、二度と起こしてはいけな

【学習を終えて】

平和公園や、平和記念資料館を訪れたことで、より戦争や原爆の恐ろしさや、平和の大切さやありがたみを実感することができた。また、平和公園の像を見たり、被爆ピアノを聞いたりしたことによって、戦争や原爆の被害を受けた後であっても、命の大切さや思いが力強く伝わつてくると感じた。